

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 29 年 10 月 2 日

理事長 松山 良一

第 34 回国際電波科学連合総会の 2023 年札幌開催が決定！

～オールジャパン体制で 30 年ぶり 3 度目の日本誘致成功～

- カナダ（モントリオール）で開催された第 32 回国際電波科学連合総会（URSI GASS 2017）において、2023 年に開催される第 34 回国際電波科学連合総会の開催地が札幌に決定しました。
- 総会においてはイタリア（ローマ）、ポーランド（ワルシャワ）、シンガポールと 2020 年、2023 年の開催地を巡って競合し、理事会での投票によって、2020 年ローマ、2023 年札幌での開催が決定しました。日本では 1963 年の東京総会、1993 年の京都総会に続き 3 度目の開催となります。
- 国際電波科学連合（URSI）は、電波、電気通信及び電子科学分野の研究の連絡と推進を図る唯一の国際学術団体で、日本での総会の開催は、広範囲な分野での日本の最先端研究の成果を世界に向け発信し、日本のプレゼンスを高める契機となり、様々な分野での学術、産業の発展が期待されています。
- 日本政府観光局（JNTO）は、観光庁、札幌国際プラザ・コンベンションビューロー、電子情報通信学会と連携し、MICE 誘致アンバサダーである中央大学教授 小林一哉氏の誘致支援を行いました。

会議名	和文) 第 34 回国際電波科学連合総会 英文) XXXIVth URSI General Assembly and Scientific Symposium (URSI GASS 2023)				
概要	・電波伝搬・計測、無線通信、電磁環境、エレクトロニクス、フォトニクス、地球、宇宙、天文、生体、及びそれらの応用を含む広範な分野を対象としている国際電波科学連合が 3 年に 1 度開催する国際会議。 ・国際電波科学連合は国際科学会議に加盟する団体の一つであり、日本では日本学術会議が国際電波科学連合に加入している。				
主催団体	国際電波科学連合 (URSI)		予定期間	2023 年 8 月	
開催都市	札幌	参加予定人数	1000 名 (外国人 700 名)	予定参加国	50 カ国
誘致活動	・観光庁、札幌国際プラザ・コンベンションビューロー、電子情報通信学会との連携のもと、内閣府科学技術政策担当大臣、総務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣、国土交通大臣、観光庁長官、北海道知事、札幌市長、日本学術会議会長、JNTO 理事長名の招請状を发出。 ・MICE アンバサダープログラムとして誘致提案書作成支援を行ったほか、札幌国際プラザ・コンベンションビューローと連携し、誘致提案書、プレゼン資料内容についてのコンサルティング、2017 年モントリオール総会に職員派遣を行い、現地での PR ブース設置とプロモーション活動等、ロビー活動支援を行った。				